

科目名	基礎柔道整復学Ⅲ					
分野	専門分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	日本の伝統医療である柔道整復術を主に理解する。柔道整復術は柔術の活法を起源とし、骨折、脱臼などの外傷に対して手術や投薬を用いずに骨や筋肉、関節の働きを応用して治療します。また、手術を必要とする外傷は、整形外科で行われる最新手術療法を紹介し、現在の医療について全体的に理解する。					
学習の到達目標	国家試験の出題の対象となる内容を習得する。					
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、試験結果、授業態度を考慮し総合的に評価する。					
使用テキスト	教科書(柔道整復学・理論編)					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	骨盤骨骨折(骨盤骨単独骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
2	骨盤骨骨折(骨盤骨輪骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
3	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(頸部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解①					
4	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(頸部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解②					
5	大腿骨骨折(大腿骨近位端部(転子部)骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
6	大腿骨骨折(大腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
7	骨盤骨骨折から大腿骨骨折の復習					
8	膝蓋骨骨折の病態・治療法・予後に対する理解					
9	膝蓋骨骨折(分裂膝蓋骨)の病態・治療法・予後に対する理解					
10	下腿骨骨折(下腿骨近位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
11	下腿骨骨折(下腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
12	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解①					
13	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解②					
14	膝蓋骨骨折から足関節の脱臼骨折の復習					
15	総合評価(まとめ)					

16	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解①
17	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解②
18	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)1
19	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)2
20	下肢骨折の復習
21	股関節脱臼(後方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
22	股関節脱臼(前方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
23	股関節脱臼(中心性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
24	股関節脱臼の復習
25	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解1
26	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解2
27	足部の脱臼(ショパール関節脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
28	足部の脱臼(中足, 足指部の脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
29	膝関節脱臼から足部の脱臼の復習
30	総合評価(まとめ)

(2024年度)